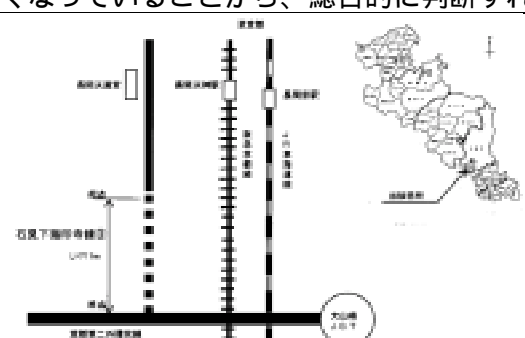


再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局建政部都市整備課
担当課長名：新階 寛恭

事業名	都市計画道路石見下海印寺線（第3工区） <small>いわみしもかいいんじせん（だい3こうく）</small>	事業区分	街路	事業主体	京都府
起終点	起点：京都府長岡京市天神二丁目 <small>ながおききょうしてんじんにちようめ</small> 終点：京都府長岡京市下内田 <small>ながおききょうししもうちだ</small>			延長	0.711km
事業概要 ：本路線は乙訓地域を南北に縦貫する幹線道路であり、京都第二外環状道路・長岡京インターチェンジへのアクセス道路となる重要な道路である。また、第二次京都府地震防災緊急五カ年計画でも、早期に整備すべき第二次緊急輸送道路に位置づけている重要な道路である。 しかし、車道幅員の狭小に加えて歩道も未整備であるため、慢性的な渋滞が発生し、歩行者の交通安全も確保できていない状況にある。 そのため、本道路を整備することで、交通の円滑化と歩行者等の安全を確保し、良好な市街地の形成を図るとともに、関連事業の支援を行うものである。					
H7年度事業化		H元年度都市計画決定		H7年度用地着手	
H8年度工事着手					
全体事業費		75 億円		事業進捗率	
		62 %		供用済延長	
		0.18 km			
計画交通量		14,500 台 / 日			
費用便益分析結果	B / C	総費用		総便益	
	(事業全体) 2.1	(残事業)/(事業全体) 7 / 73 億円		(残事業)/(事業全体) 152 / 153 億円	
	(残事業)	事業費：6 / 72 億円 維持管理費：0 / 0 億円		走行時間短縮便益：136 / 138 億円 走行費用減少便益：14 / 14 億円 交通事故減少便益：2 / 2 億円	
基準年 ：平成16年					
事業の効果等					
・交通の円滑化 ・歩行者や自転車の安全確保 ・良好な都市空間の形成に資する。					
関係する地方公共団体等の意見					
・地元の長岡京市から整備要望があり、道路植樹の維持管理を行う地元組織も存在している。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
・人口や交通量は横這い。 (長岡京市の人口推移 H7;78,697人 H12;77,846人、交通量推移 H6;13,947台/12h H11;15,529台/12h)					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
・工事： H14に北端から約180mを部分供用済。その南側約200mについて施工中。 ・用地： 進捗率 約79% (H15末の先行取得を含む面積率)					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・主に市街地部での現道拡幅事業で、沿道のマンションなど権利関係が複雑な物件の交渉に長期を要した。 ・H17に現道拡幅部を供用し、H18にはバイパス部を暫定的に第二外環の工事用道路として利用可能とする。					
施設の構造や工法の変更等					
・計画： 現道を活用しつつ第二外環に接続する最適なルートで、投資効果の大きな道路計画である。 ・構造： コンクリート二次製品の活用やボランティアによる道路植樹維持管理等でコスト縮減を図る。					
対応方針 ：事業継続					
対応方針決定の理由					
・本路線は、乙訓地域の交通ネットワークを形成する重要な道路であり、都市開発資金を活用した先行取得も進み、残事業費も少なくなっていることから、総合的に判断すれば事業を継続する必要がある。					
事業概要図					
					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。